

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について

佐伯市教育委員会

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について(小6・中3)

市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、令和8年4月23日(木)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。以下は、その集計結果です。

【目的】

- ①児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する内容

小6…国語、算数の2教科

中3…国語、数学、英語の3教科

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を調査。
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を調査。

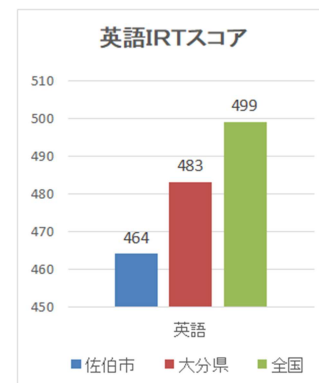
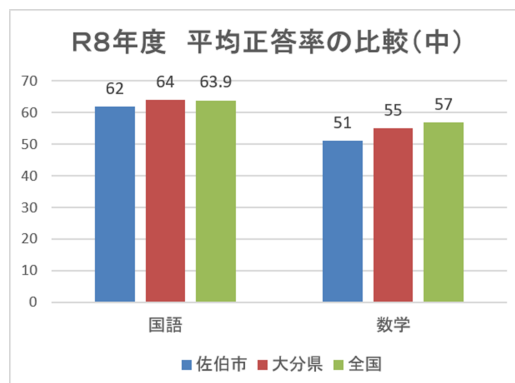
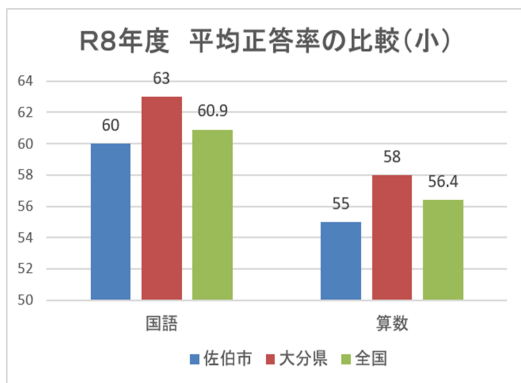
②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒質問紙・・・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校質問紙・・・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

	小学校6年生			中学校3年生			
	国語	算数	合計	国語	数学	英語 (IRT スコア)	2教科合計
佐伯市	60	55	115	62	51	464	113
大分県	63	58	121	64	55	483	119
全国	60.9	56.4	117.3	63.9	57.0	499	120.9

【平均正答率（全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合）[%]の全体比較】



<結果概況>

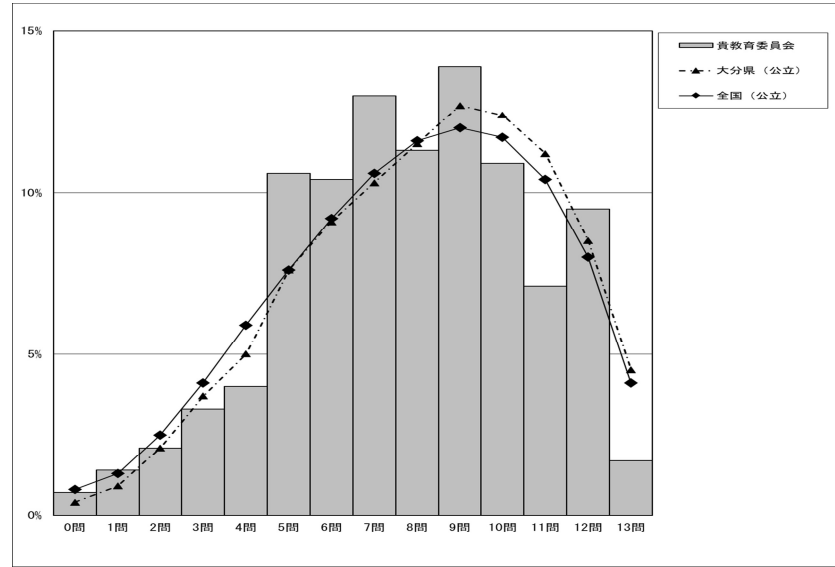
- 小学校は、国語、算数ともに全国平均および県平均を下回った。
- 中学校は、国語、数学、英語ともに全国平均および県平均を下回った。
- 中学校数学は、県平均から4ポイント、全国平均から6.0ポイントの差がある。
- 中学校英語（IRTスコア）は、県平均から19ポイント、全国平均から35ポイントの差がある。

<課題と対策>

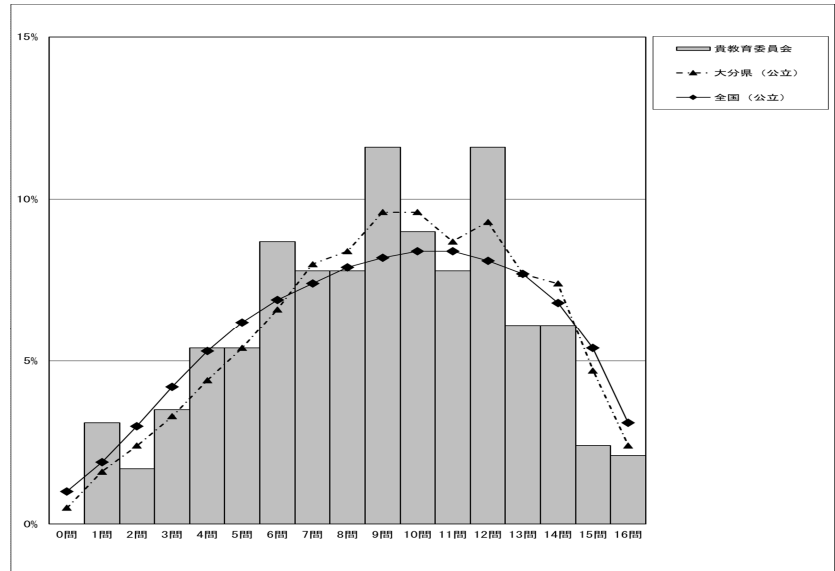
- 小学校の国語においては、提示された条件や資料を踏まえ、文脈に沿って自分の考えを記述する問題、算数においては、複数のデータの傾向を捉えて比較し、判断したことを数値を用いて説明する問題の正答率が低い。提示された条件や情報を正しく読み取り、目的に応じて活用する力に課題があることから、条件に合わせて考えを組み立て、根拠や組み立てた考え方を言葉や式で説明させる場面を意図的に取り入れる授業改善を推進する必要がある。
- 中学校の国語においては、国語辞典を参考に文脈上の意味を捉えて抜き出す問題や擬態語の効果を書く問題、数学においては、変化の傾向や理由を分析し、求める方法や判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題、英語においては、読んだことや与えられたテーマについて自分の考えとその理由を英文で書く問題の無解答率が高い。要因を分析し、目的や題意に沿って自分の考えを筋道立てて説明・表現する力の育成に向けた授業改善と、基礎基本の定着・習熟の取組の充実を図る必要がある。

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	7.8／13	60	8.9／16	55
大分県（公立）	8.2／13	63	9.3／16	58
全国（公立）	7.9／13	60.9	9.0／16	56.4

小学校国語 分布



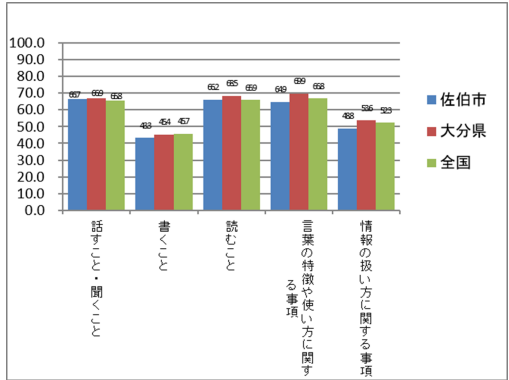
小学校算数 分布



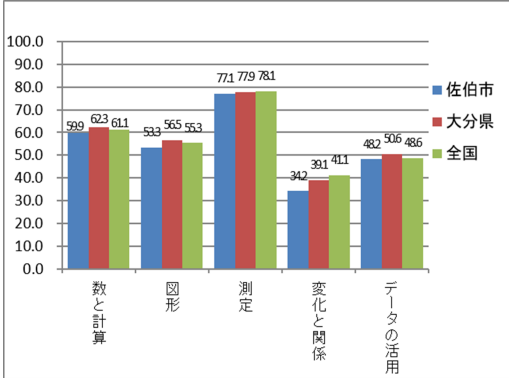
調査結果概況＜中学校＞

は全国平均以上

小6国語	平均正答率(%)		
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	66.7	66.9	65.8
書くこと	43.3	45.4	45.7
読むこと	66.2	68.5	65.9
言葉の特徴や使い方にに関する事項	64.9	69.9	66.8
情報の扱い方にに関する事項	48.8	53.6	52.3

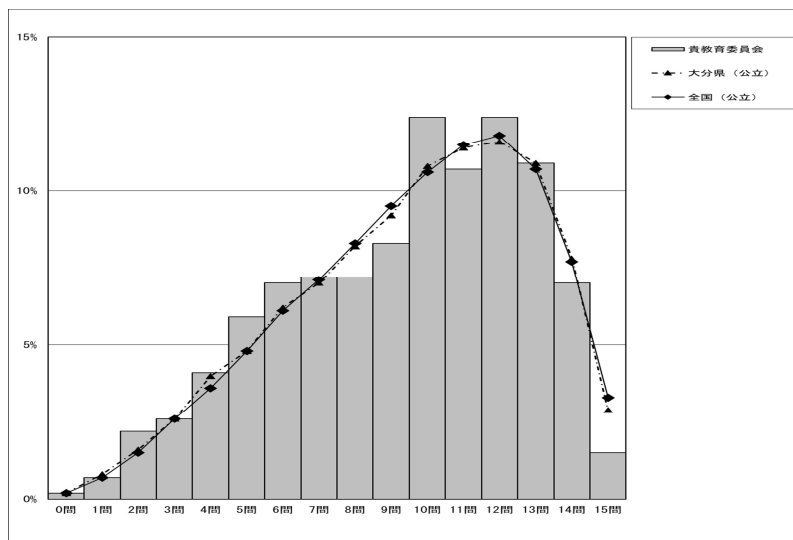


小6算数	平均正答率(%)		
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
数と計算	59.9	62.3	61.1
図形	53.3	56.5	55.3
測定	77.1	77.9	78.1
変化と関係	34.2	39.1	41.1
データの活用	48.2	50.6	48.6



	国語		数学		英語
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	I R Tスコア
佐伯市教育委員会	9.3/15	62	8.1/16	51	464
大分県(公立)	9.5/15	64	8.8/16	55	484
全国(公立)	9.6/15	63.9	9.1/16	57.0	499

中学校国語 分布

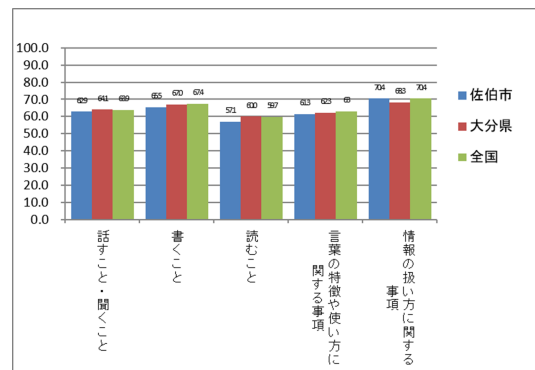


は全国平均以上

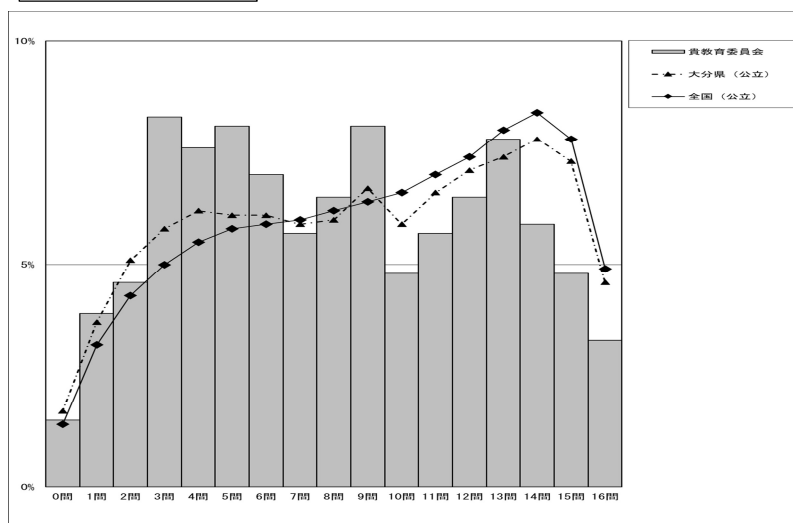
中3国語

平均正答率(%)

学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	62.9	64.1	63.9
書くこと	65.5	67.0	67.4
読むこと	57.1	60.0	59.7
言葉の特徴や使いに関する事項	61.3	62.3	63.0
情報の扱いに関する事項	70.4	68.3	70.4



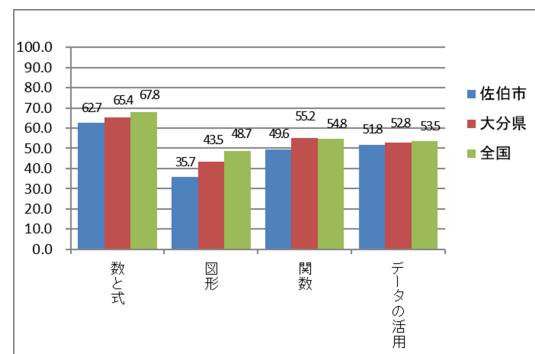
中学校数学 分布



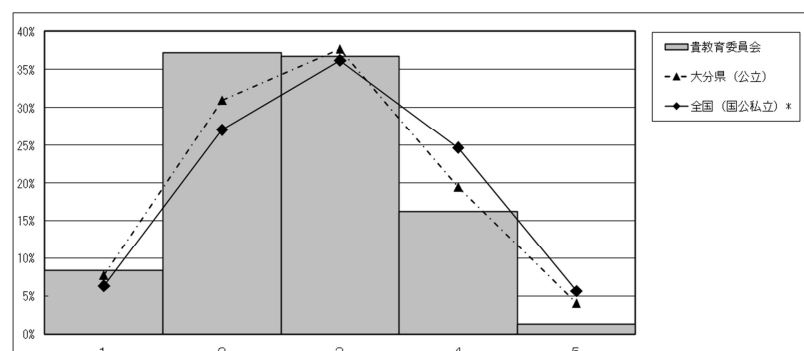
中3数学

平均正答率(%)

学習指導要領の領域	佐伯市	大分県	全国
数と式	62.7	65.4	67.8
図形	35.7	43.5	48.7
関数	49.6	55.2	54.8
データの活用	51.8	52.8	53.5



中学校英語 分布



小学校国語

佐伯市の平均正答率	60%
大分県の平均正答率	63%
全国の平均正答率	60.9%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 13 問

- ◇正答率 80% 以上の問題・・・2 問（大分県 2 問、全国 1 問）
- ◇正答率が全国平均以上の問題・・・6 問（大分県 11 問）
- ◆正答率 60% 未満の問題・・・7 問（大分県 6 問、全国 6 問）
- ◆正答率が全国を下回っている問題・・・7 問（大分県 2 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆3三(2) 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く問題。
(佐伯市 10.9%・大分県 10.7%・全国 15.6%)

<正答率が低かった問題>

【書くこと】

- ◆2四 【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く。(佐伯市 35.0%・大分県 35.9%・全国 33.5%)
→目的や意図に応じて、本や資料の中から必要な情報を決め、集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を吟味することに課題がある。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆2三イ 【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す(ふしぎ)。
(佐伯市 38.5%・大分県 50.1%・全国 45.2%)
→反復練習にとどまらず、漢字と意味を結びつけて学習することに課題がある。
(不…～ない、思…心で思う・考える、議…言葉に出して話し合う など)

【情報の使い方に関する事項】

- ◆3二 傍線部①②③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する。(佐伯市 48.2%・大分県 57.2%・全国 55.6%)
→【林さんのメモ】が筆者の文章を読み取り整理したものなのか、林さん自身の考えをもとに書かれたものなのか、【文章】と【林さんのメモ】を関連づけることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 複数の資料や本から、目的や意図に応じて必要な情報を取り出し、整理したり活用したりして自分の考えが伝わるように表現する学習活動を充実させる。
 - ・「読むこと」において、複数の資料を読み解き、関連付けながら理解したり活用したりする場面を想定した学習活動。
 - ・「書くこと」において、伝える相手や目的を明確にし、必要な資料を複数用意し関連付けながら、自分の考えが伝わるように順番やタイミングを考えて活用する学習活動。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で適切に使うことを大切にする。
 - ・単語で漢字を覚えるのではなく、前後の文章の中で正しい漢字を選択したり、文意に沿った漢字を書き表したりする学習活動。
 - ・他教科や日常生活と関連させて、漢字に慣れ親しませていく。
- 文章や資料を比較しながら読む指導を大切にする。
 - ・文章や資料、説明や解説などの文章を比較しながら読み、共通点や相違点を明確にし話し合ったり文章にまとめたりする学習活動。

小学校算数

佐伯市の平均正答率	55%
大分県の平均正答率	58%
全国の平均正答率	56.4%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16 問

- ◇正答率 80% 以上の問題・・・1 問（大分県 1 問、全国 1 問）
- ◇正答率が全国平均以上の問題・・・7 問（大分県 10 問）
- ◆正答率 60% 未満の問題・・・9 問（大分県 8 問、全国 9 問）
- ◆正答率が全国を下回っている問題・・・9 問（大分県 4 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆1 (4) 四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く。
(佐伯市 5.2%・大分県 5.2%)
→日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することに課題がある。

<正答率が低かった問題>

【変化と関係】

- ◆2 (4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの 1.5 倍になっている図を二つ選ぶ。
(佐伯市 22.2%・大分県 29.3%)
→示された基準量と割合から、比較量を捉えることに課題がある。

【データの活用】

- ◆4 (3) 二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く。
(佐伯市 14.4%・大分県 17.8%)
→二次元の表において、調べたい場面の 2 つの項目を順序よく追ったり、行や列の「合計」の意味に着目したりして、目的に必要な数値を正しく読み取ることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 日常生活の問題について、身の回りのものを図形として捉え、図形を構成する要素に着目して考察する場面を設定する。
 - ・例えば、具体物を観察したり、構成したり、分解したりする活動を通して直方体の縦・横・高さなどの構成要素を着実に捉えさせる。
 - ・操作活動や観察を通して見いだしたこと（考えや根拠）を、図や数、言葉を用いて説明する活動を位置付ける。
 - ・自分の考えを伝え合い、他者の考えと比較・吟味する対話的な学びの場面を充実させ、考えをブラッシュアップさせていく指導の工夫を図る。

○示された基準量と割合から、図を用いて比較量を捉え、割合の概念を理解する場面を設定する。

- ・低学年の既習事項（倍の意味）と関連させ、「○倍（割合）」と「○目盛り分多い（差）」の違いを明確に意識させる。具体的には、基準量に対して「2 倍」と「2 目盛り分多い」の違いを確かめる活動を通して、整数倍の意味を整理した上で、1.5 倍や 2.5 倍などの小数の倍の意味へと段階的に理解を広げさせる。
- ・基準量の大きさを変えた活動を行い、「1.5 倍は基準量を 1 と見たときに 1.5 に当たる量」であることを図を通して捉えさせる。
- ・日常生活の場面において、単なる数量の差ではなく割合を用いて比較する良さに気付かせ、数量の関係に着目して考察する活動を位置付ける。

○目的に応じてデータを分類整理し、二次元の表を作成したり読み取ったりして、統計的に問題を解決する場面を設定する。

- ・二次元の表の構造や「合計」の意味の理解し、目的に応じた数値を適切に読み取る活動を充実させる。具体的には、必要な数量を求める目的を設定し、2 つの項目を順序よく追って数値を見いだしたり、合計の意味に立ち戻って確かめたりする。
- ・単一の観点では解決できない問題に触れさせ、児童自らが「2 つの観点（項目）」を決めてデータを二次元の表に分類整理する活動を取り入れる。
- ・表から読み取った結果をもとに得られた結論について、他の項目や元のデータと照らし合わせ、結論が正しいか判断・考察させる活動を取り入れる。

中学校国語

佐伯市の平均正答率	62%
大分県の平均正答率	64%
全国の平均正答率	63.9%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 15問

- ◇正答率80%以上の問題・・・3問（大分県3問、全国3問）
- ◇正答率が全国平均以上の問題・・・3問（大分県4問）
- ◆正答率60%未満の問題・・・5問（大分県5問、全国5問）
- ◆正答率が全国を下回っている問題・・・10問（大分県10問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆4二 国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す。（佐伯市 23.9%・大分県 21.9%・全国 19.8%）
→語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がある。
- ◆4四 二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く。（佐伯市 23.5%・大分県 21.4%・全国 18.6%）
→文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。
- ◆2四 話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く。（佐伯市 18.0%・大分県 16.7%・全国 14.7%）
→互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題がある。

<正答率が低かった問題>

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆3一 文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組み合わせとして適切なものを選択する。（佐伯市 41.3%・大分県 45.4%、全国 39.8%）
→文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。

【書くこと】

- ◆3四 書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く。（佐伯市 41.7%・大分県 45.9%・全国 45.0%）
→表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことに課題がある。

②具体的な改善方策

- 授業において目的を明らかにした言語活動を設定し、根拠を明確にしながら自分の考えを伝え合う活動を位置づける。
 - ・課題に対する自分の考えを、根拠を基に文章化し、相手に伝える活動
 - ・課題に対する友だちの考えを聞き、自分の考えとの相違等を照らし合わせて考えを深める活動
- 国語科のみならず、学級活動や総合的な学習の時間、道徳等において、話し合う活動を大事にする。
 - ・生徒全員が主体的に話し合いに参加できる場の設定（お客さんをつくらない）
 - ・情報の交換や意見の調整を通して、新たな価値を創造したり一定の合意を形成する経験を重ねる
- 短学活を活用した、短文にまとめる活動や漢字学習を日常的に位置づける。
 - ・新聞コラムを要約するなど、いくつかの条件を満たしながら求められる内容を書く活動
 - ・文脈に即した漢字を選択する等、漢字ミニテストを実施

中学校数学

佐伯市の平均正答率	51%
大分県の平均正答率	55%
全国の平均正答率	57.0%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16 問

- ◇正答率 80% 以上の問題・・・1 問（大分県 1 問、全国 1 問）
- ◇正答率が全国平均以上の問題・・・1 問（大分県 1 問）
- ◆正答率 60% 未満の問題・・・10 問（大分県 9 問、全国 8 問）
- ◆正答率が全国を下回っている問題・・・15 問（大分県 12 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆7 (2) データ量が 1000MB になるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する。（佐伯市 51.4%・大分県 43.4%）
- ◆9 (3) 「就寝時刻が 23 時より前の生徒と比べて 23 時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形位置を比較して説明する。（佐伯市 42.0%・大分県 32.3%）
- ◆8 (2) 図 1 において、 $AB=AP$ 、 $OB=OP$ ならば $\angle AOB=\angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する。（佐伯市 34.6%・大分県 26.0%）
- ◆6 (3) 手順にしたがってできた A と B について、 $A-B$ の値がどんな数になるかを、選んだ 2 数の差に着目して説明する。（佐伯市 32.9%・大分県 29.3%）

<正答率が低かった問題>

【図形】

- ◆8 (3) 図 2 において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ。
（佐伯市 26.8%・大分県 35.6%）
→具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことに課題がある。
- ◆3 四角形 PQRS において、PS 平行 QR を示すための根拠となる二つの角を書く。
（佐伯市 20.4%・大分県 24.8%）
→2 直線が平行になるための条件を理解していることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 【図形】証明問題において、論理づけて記述することに慣れ、生徒どうして説明し合う活動を充実させる。
 - ・証明に必要な条件（合同条件、相似条件等）や、問題文で与えられる「仮定」や図形の性質から分かることを、生徒自らが図に書き込むことを定着させる。
 - ・自分の考えを書く→友達に自分の考えを説明しながら交流する→交流をもとに自分の考えを練り直すことを各単元において充実させることが必要である。
 - ・生徒が証明を書き終えた後にその証明を振り返る活動を取り入れる。ポイントとして、①筋道を立てて説明できているか。②根拠は明確であるか。③記号や用語の使い方は適切か。などの視点で証明を評価・改善できるように指導することが大切である。
- 【データの活用】データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明しあう活動を充実させる。
 - ・単なる「用語や公式の暗記・計算の練習」に終始せず、統計的探究プロセスを意識した授業展開を行う。
 - ・授業では、生徒にとって身近で興味をひくデータを扱うようにする。その際「散らばり」や「グラフの形」を見ないと比べられないデータがよい。
 - ・「根拠をもって言葉で表現する」活動を取り入れる。（発問例）度数折れ線の山のずれは何を意味しているのか。平均値は同じなのに、なぜこちらのグループの方が安定しているといえるのか。データ数が違うのに、そのまま度数で比べていいのか。など
- 【その他】
 - ・正答数が 0 問の生徒の要因分析を行い、授業における個に応じた指導の改善を行う。
 - ・問題文で、何が問われているのかを理解できない生徒が見受けられる。何が問われているかを把握させるため、取り出した情報を、生徒が自らの力で、絵や図、グラフに表し、問題場面を整理できるようにする。

中学校英語

佐伯市の I R T スコア	4 6 4
大分県の I R T スコア	4 8 3
全国の I R T スコア	4 9 9

I R T スコア
I R T に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○公開問題数 23 問

- ◇正答率 80% 以上の問題・・・0 問（大分県 0 問、全国 0 問）
- ◇正答率が全国平均以上の問題・・・0 問（大分県 2 問）
- ◆正答率 60% 未満の問題・・・20 問（大分県 18 問、全国 17 問）
- ◆正答率が全国を下回っている問題・・・23 問（大分県 21 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆10 (2) インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。
(佐伯市 19.8%・大分県 18.8%)
- ◆13 留学生との交流会で一緒にしたいことを 1 つ取り上げ、その理由を書く。
(佐伯市 19.6%・大分県 12.7%)
- ◆14 学校で普段行うことを 1 つ取り上げ、それについての説明を書く。
(佐伯市 20.0%・大分県 19.5%)
- ◆15 (2) b 電話のやりとりの中で、留学生に自分の家に来てもらうように提案する。
(佐伯市 25.5%・大分県 22.1%)
- ◆19 学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す。
(佐伯市 26.5%・大分県 25.5%)

<正答率が低かった問題>

- ◆4 【聞くこと】職場体験についての発表を聞き、その後に示される 3 枚の絵を体験した順になるように選択する問題。(佐伯市 34.4%・大分県 41.2%)
→まとまった量の英文を聞き、概要を捉えることに課題がある。
- ◆10 (2) 【読むこと・書くこと】インターネットの使用に関して読んだことについて考えとその理由を書く。(佐伯市 23.2%・大分県 23.5%)
→読み取った内容の要点を捉え、その内容に関して自分の考えとその理由を英語で表現することに課題がある。
- ◆13 【書くこと】留学生との交流会で一緒にしたいことを 1 つ取り上げ、その理由を書く問題。
(佐伯市 30.4%・大分県 39.7%)
- ◆14 【書くこと】学校で普段行うことを 1 つ取り上げ、それについての説明を書く。(佐伯市 15.6%・大分県 14.3%)
→日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある英文を書くことに課題がある。
- ◆18 【話すこと】自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を 1 つ取り上げる問題。(佐伯市 13.3%・大分県 18.4%)
- ◆19 【話すこと】学校生活をよりよくする方法に関して、聞いたことについて考えとその理由を話す問題。(佐伯市 13.2%・大分県 16.7%)
→日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある英文を話すことに課題がある。

②具体的な改善方策

- 【聞くこと】英文を聞く際に、「誰が」「どこで」「いつ」「何をしているか」といった情報やディスコースマーカー (First, Second 等) に着目させ、メモをとる習慣を付けさせる。授業の中では、聞き取った内容について、ペアで確認するなど聞いた内容をアウトプットする活動を継続して行う。
- 【書くこと】日頃からスモールトークの活動などで扱った話題について、ペアで話した内容を英語で書かせる時間を多く持ち、書くことに対する抵抗を減らすことが大切である。その中で、「序論・本論・結論」といった文章構成の特徴を意識させながら、一貫性のある英文を書かせる指導を継続する必要がある。また語彙や基本的な英文構成など、基礎的能力を培う指導を継続的に行い、実際にコミュニケーションを図る活動の中で使用させる場面を多く確保する。
- 【話すこと】帯活動等で「Listen→Think→Speak」の流れに継続して取り組む。その際に日常生活や社会的な話題に関することをテーマとして用いる。理由を述べる際の汎用性の高い表現について、使用をさせる場面を【書くこと】と同様に【話すこと】においても多く設定し、定着を図る。

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問調査）

1 調査結果の概要

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値
○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

【小学校】授業に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
35	P C・タブレットなどのI C T機器を、週3回以上使用しましたか	○ 73.2	70.8	68.8
39	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 27.3	29.4	28.3
40	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	○ 29.3	28.0	26.9
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	▼ 44.1	46.0	43.5
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	○ 39.7	37.0	35.0
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 38.6	32.7	35.5
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○ 48.7	48.8	47.4
53	国語の勉強は好きですか	○ 29.6	27.7	24.4
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	○ 45.0	39.6	36.1
58	国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか	○ 39.0	37.3	35.0
61	算数の勉強は好きですか	▼ 31.9	36.3	33.9
62	算数の授業の内容はよく分かりますか	▼ 41.1	43.3	41.9
66	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	▼ 27.3	30.5	27.8
70	英語の勉強は好きですか	○ 43.0	39.8	37.8
71	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	▼ 16.6	20.6	21.1
72	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか	▼ 20.8	24.4	25.8

【小学校】家庭学習に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
4	普段（月曜日から金曜日）、1日3時間以上の時間、スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか。	▼ 43.4	39.1	37.6
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	○ 33.0	30.5	28.7
23	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 51.5	54.1	49.9
25	普段（土曜日～日曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 42.5	44.9	39.0
26	学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらい読書を行いますか。（全くしないの割合）	▼ 30.5	25.6	26.3

【小学校】学びに向かう力に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
8	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 35.6	42.1	43.6
10	将来の夢や目標をもっていますか	▼ 54.5	57.6	58.6
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 83.4	82.3	81.1
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	○ 71.1	69.9	70.8
15	学校に行くのは楽しいと思いますか	○ 48.5	48.3	48.0
30	新聞を、週に1回以上読んでいますか	▼ 3.9	7.1	10.0
33	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	○ 36.0	32.4	31.9

【中学校】授業に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
35	P C ・ タブレットなどの I C T 機器を、週 3 回以上使用しましたか	○ 91.7	86.1	78.2
39	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 22.0	27.5	27.0
40	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	○ 25.4	25.5	23.1
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	○ 44.6	43.3	39.6
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	○ 31.6	31.0	28.3
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 35.4	32.3	32.4
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○ 51.4	52.4	50.7
53	国語の勉強は好きですか	○ 28.8	25.3	22.3
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	○ 47.1	31.2	27.1
59	国語の授業で文章を書いた後に、表現の工夫とその効果等について、読み手からの助言等を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか	○ 41.2	32.7	30.0
61	数学の勉強は好きですか	▼ 25.6	27.6	28.8
62	数学の授業の内容はよく分かりますか	▼ 31.8	32.5	34.6
66	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	○ 28.8	27.4	24.0
70	英語の勉強は好きですか	○ 26.0	24.5	24.6
71	英語の授業の内容はよく分かりますか	○ 30.5	26.1	27.6
79	英語の授業で、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを書いたりする活動が行われていましたか	○ 41.2	41.2	37.6

【中学校】家庭学習に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
4	普段（月曜日から金曜日）、1日3時間以上の時間、スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか。	○ 49.4	43.6	49.6
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	○ 33.0	30.0	27.4
23	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 62.7	73.7	61.6
25	普段（土曜日～日曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 58.8	71.7	52.5
26	学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか（全くしないの割合）	○ 40.3	46.8	40.7

【中学校】学びに向かう力に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
8	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 36.7	39.9	41.0
10	将来の夢や目標をもっていますか	○ 40.5	37.7	37.4
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 83.4	80.6	76.3
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 69.1	69.4	69.8
15	学校に行くのは楽しいと思いますか	○ 52.5	48.4	45.2
30	新聞を、週に1回以上読んでいますか	▼ 3.4	5.1	6.2
33	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	○ 24.5	23.2	22.1

2 児童・生徒質問調査の結果をふまえて

- ・各質問項目において、全国地より低い項目（▼）については、児童生徒の回答を真摯に受け止め、具体的な改善方策に繋げていくことが必要である。
- ・小学校算数・中学校数学の好感度や理解度、主体的な課題解決の態度は依然として全国値を下回っているが、国語はすべて上回っている。効果的な指導を普及させ「楽しい、わかる、できる」授業改善を進める必要がある。
- ・家庭学習について、平日・休日「1時間以上勉強する」割合は小・中学校ともにすべて全国値を上回っている。しかし、「SNSや動画視聴を1日3時間以上行う」割合が高く、望ましい利用法や生活習慣の確立に向けた改善・家庭との連携が必要である。
- ・小・中学校ともに、「自分には、よいところがある」の項目が依然として全国値を下回っている。一方で、「学校に行くのは楽しい」などは全国値を上回る良好な傾向にある。学級経営の充実や多様な他者と協働する温かい人間関係構築のための手立てを継続して行う必要がある。

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問調査）

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値

◎：全国値より10%以上

○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

1 調査結果の概要

【小学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
8	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	▼ 5.6	44.4	32.3
10	将来、就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	◎ 27.8	25.5	17.2
27	授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていますか	◎ 38.9	22.2	12.8
28	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか	◎ 44.4	34.7	21.1
39	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の課程を意識した指導をしていますか	◎ 50.0	45.2	36.7
46	国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか	▼ 27.8	44.8	31.7
47	文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか	○ 38.9	43.5	30.2
50	算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか	○ 44.4	53.6	37.9
51	算数の授業において、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	○ 50.0	53.6	43.9
52	算数の授業において、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか	◎ 66.7	65.3	48.2
55	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	▼ 11.1	28.9	18.3
56	英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会（イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等）を月1回以上設けていますか	▼ 33.4	42.3	37.2
58	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	◎ 50.0	49.0	37.2
60	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用しましたか	○ 100.0	98.8	99.5

【小学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
81	家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	○ 55.6	67.4	49.4
82	家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	▼ 22.2	43.1	39.0
83	学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	○ 33.3	51.0	31.4

【小学校】教育課程に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
17	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	◎ 72.2	66.5	42.5
18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人材・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	○ 61.1	67.4	51.5
19	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか	◎ 77.8	73.6	61.1
76	近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	▼ 16.7	33.5	21.7
78	コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童が意見を表明することが出来る取組を行いましたか	▼ 5.6	27.2	19.9
79	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	▼ 27.8	54.4	36.5
80	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけでなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思いますか	▼ 16.7	41.4	32.0

【中学校】授業に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
8	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	▼ 41.7	51.3	43.6
10	将来、就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	○ 50.0	52.1	44.9
27	授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	○ 25.0	21.8	15.2
28	学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	○ 25.0	33.6	23.5
39	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の課程を意識した指導をしていますか	◎ 58.3	40.3	38.1
46	国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか	○ 41.7	44.5	37.3
48	表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるような指導を行いましたか	▼ 33.3	37.8	34.0
50	数学の授業において、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	◎ 33.3	37.0	23.2
51	数学の授業において、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	▼ 33.3	51.3	46.7
52	数学の授業において、学習上つまづいた生徒に対する対応を行っていましたか	◎ 75.0	57.1	43.1
59	英語の授業において、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動を行いましたか	▼ 25.0	36.1	34.7
60	英語の授業において、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を行いましたか	▼ 25.0	31.1	25.5
61	英語の授業において、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行いましたか	▼ 8.3	20.2	20.7
66	教員がコンピュータなどのＩＣＴ機器の使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	◎ 58.3	42.9	31.8
68	生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、授業で週３回以上活用しましたか	○ 100.0	99.2	93.7

【中学校】家庭学習に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
89	家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	▼ 25.0	52.9	33.4
90	家庭学習について、生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	▼ 16.7	37.8	26.8
91	学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	▼ 16.7	42.9	22.2

【中学校】教育課程に関すること

N o	項目	佐伯市	大分県	全国
17	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基き、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	◎ 66.7	59.7	38.6
18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人材・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	◎ 83.3	51.3	37.6
19	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか	◎ 83.3	73.9	57.4
84	近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	○ 33.3	34.5	28.8
86	コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、生徒が意見を表明することが出来る取組を行いましたか	○ 16.7	21.0	16.7
87	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	◎ 58.3	36.1	28.0
88	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけでなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思いますか	◎ 50.0	34.5	26.1

学校質問調査の結果をふまえて

- ・組織的な指導体制や教育課程の編成において、小中ともに一連のPDCAサイクルの確立や教職員の適切な連携協働、ＩＣＴ機器の活用等で全国値を上回っており良好な傾向がうかがえる。
- ・小学校においては、話し合い活動での表現力の育成や、将来の夢を考えさせるキャリア教育で全国値を上回っている。一方、「授業中の私語が少なく、落ち着いている」の割合が大幅に低く、今後の授業規律の徹底が重要である。
- ・中学校においては、コミュニティ・スクールを活用した地域連携において良好な傾向がうかがえる。一方、数学で筋道を立てて説明させる指導や、英語で問答したり自分の考えを英語で書いたりする活動など、教科指導における言語活動の推進や、授業規律の徹底を図る必要がある。
- ・小・中学校ともに、家庭学習において「児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか」の数値が依然として全国値を下回っている。定着・習熟を図るためだけでなく、児童生徒が自ら学習課題を見出し、主体的に学び続ける「自立した学習者」を育成するための指導内容の検証改善が求められる。

佐伯市学力向上対策に係る学力向上の取組

<佐伯市内小・中学校の現状・課題>

- (1) 基礎学力の定着と活用問題（課題）への対応
- (2) 自分の考えをもち、根拠や筋道を明確にして、言葉で表現する力（書くこと・説明すること）の向上



<現状・課題をふまえた重点的取組>「佐伯市学力向上」プランから

◇定着・習熟の取組

- (1) 「習熟の程度に応じた指導」を意識した単元構想に基づく授業実践
- (2) 児童生徒の主体的な学習を促す個に応じた指導の徹底
- (3) 授業と連動した家庭学習と、家庭学習の確かな見取り
- (4) N I E の実践と家庭学習への活用
 - ・新聞社のワークシート等を活用した取組
- (5) 問題データベース・タブレット端末用学習教材、Web 評価支援システムの有効活用
- (6) 各種学力調査（全国調査・県調査・市調査）問題の有効活用
 - ・授業の内容に即して活用問題・練習問題として出題し解説
 - ・「授業アイディア例」（国立教育政策研究所）等を参考
- (7) 英検の受検促進

どこでどのように取り組むのかを明確にし、計画的・継続的な取組を行う。

◇授業力向上の取組（「楽しくて力の付く授業づくり」に基づく授業改善を進める中で）

- (1) 付けたい資質・能力、評価規準を明確した授業の実施
 - ・授業を実施する前提として、授業者が付けたい資質・能力、評価規準を意識
- (2) 子どもの学びの姿の想定と、実際の子どもの姿で見取る授業の実施
 - ・授業者が事前に子どもの学びの姿（反応や困りの予想）を想定し、その姿と授業中における実際の子どもの姿や発言、つまづきを照らし合わせ、その場に応じた的確な支援や評価（見取り）を徹底
- (3) 「情報の取り出し→思考・判断→表現」の一体化を意識した授業の実施
 - ・複数の情報から適切な情報を取り出し、取り出した情報を根拠に、各教科固有の学習用語を使いながら、自分の考えを説明したり、書いたりして表現する
 - ・資料や教材文から、解答のために必要な情報に線を引いたり、印をつけたりする（内容読解のための情報の取り出し、自分の考えをつくるための情報の取り出し）
 - ・取り出した情報を、児童生徒が図や絵、グラフ、数直線、表などに整理し、関係性や傾向を視覚的に捉えさせたり考察させたりする
 - ・全文掲示を利用し、関連する叙述と叙述をつなぐ、叙述と図をつながせる
- (4) 必然性をもったペア・グループ活動の実施
 - ・「相談したい」「話し合って課題を解決したい」等、ペア・グループ活動を行う目的（授業者の意図）を明確にする。
 - ・表現する場面の設定、児童生徒の姿の想定と見取り

校内研修において共通理解し、日常の授業において具現化する。（授業観察の視点に組み入れる）

※「定着・習熟の取組」「授業力向上の取組」については、研究指定校の実践研究に学ぶとともに、積極的に授業公開を行い、自校の取組状況について検証改善を進めること。

※「授業力向上の取組」については、経験年数の浅い教員育成の観点から授業力向上アドバイザーを計画的に活用すること。